

事前の評価個表

整理番号	1
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (復旧治山)	都道府県名	北海道
事業実施地区名	片倉 (かたくら)	事業計画期間	平成28年度～平成34年度(7年間)
関係市町村名	登別市 (のぼりべつし)	事業実施主体	北海道
事業の概要・目的	<p>本地区は北海道南西部胆振地方に位置し、地質は凝灰角礫岩と倶多楽湖火山噴出物(泥岩層風化物)で構成されており、平成24年11月に暴風雪により風倒木及び山腹崩壊が発生し、住宅地へ土砂や倒木が流出する被害となった。</p> <p>今後、豪雨などによる崩壊の拡大や不安定土砂の移動、落石等が発生した場合、山腹直下の人家、道路等に被害が及ぶ恐れがあることから、山腹基礎工及び山腹緑化工により、崩壊斜面の復旧を図り、山地災害の防止を図ることを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：土留工 3基 水路工 35m 暗渠工 2,610m 法枠工 14,380m² 吹付工 1,830m² 柵工 300m 伏工 1,290m² 実播工 13,170m² 法切工 3,640m³ 植栽工 0.53ha ・ 総事業費： 1,050,000千円 		
費用対効果分析	総便益(B)	2,231,679千円	
	総費用(C)	893,543千円	
	分析結果(B/C)	2.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：平成24年に発生した山腹崩壊箇所に対策工を講じ、崩壊斜面を復旧することにより、直下の人家等を保全する事業である。また、更なる山腹崩壊が発生した場合、人命・財産へ大きな影響を及ぼすことから、必要性が認められる。 ・ 効率性：現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法により対策を講じ、また、コスト縮減を検討し、総事業費の軽減を図る方針であり、効率的な事業の実施が見込まれる。 ・ 有効性：山腹崩壊箇所に対し対策工を講じることにより、直下の人家等の保全を通じて、民生の安全・安心が確保されることから、有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：片倉地区

都道府県名：北海道
(単位：千円)

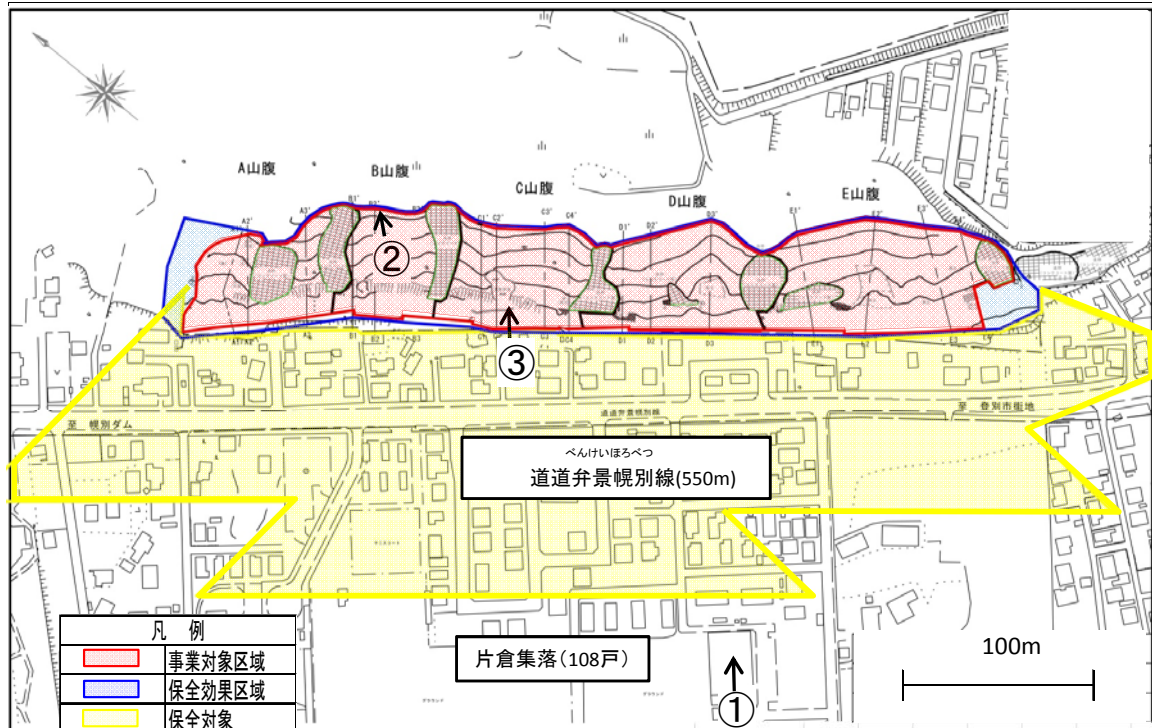
大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	2,231,679	
総 便 益 (B)		2,231,679	
総 費 用 (C)		893,543	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,231,679}{893,543}$		= 2.50

評価箇所概要図

整理番号	1
------	---

北海道

事業名	民有林補助治山事業(復旧治山)	地区名	片倉(かたくら)
-----	-----------------	-----	----------



①保全対象(片倉町集落)



②山腹荒廃状況



③山腹荒廃状況及び人家の被災状況



片倉地区